



今こそ「ONE TEAM」となり、JR産業に集うすべての仲間の雇用と生活を守ろう

2021年 3月 1日

日本鉄道労働組合連合会

グループ労組が一斉に要求書を提出

2月10日に開催した「JRグループ労組連絡会2021春闘総決起集会」で意思統一した闘争方針に基づき、要求書の一斉提出日に指定した2月26日、多くのグループ労組が会社に要求書を提出した。

足元では、ホテル、飲食、物販、旅行、バス、船舶を生業としている会社では、新型コロナウイルス感染症拡大に起因する業績の急激な悪化を受けて、雇用調整を目的とした一時帰休や在籍出向が実施されるなどの危機的状況に陥っており、JR各社からの委託料や工事受注料が主な収益となっている会社でも、JR各社のコスト削減に伴い、次年度は減収となる懸念があるなど、グループ会社の先行きは不透明と言わざるを得ない。しかし、各グループ労組は、闘争方針に基づき、雇用と生活の維持を最優先に、労働条件を「働きの価値に見合った水準」へと引き上げるべく、ベースアップ1,000円をはじめとした要求を堂々と申し入れた。今後、労使協議が本格化していく。

JR連合は、グループ労組の労使協議を支えるべく、雇用調整助成金の特例措置の延長をはじめ、公租公課の支払い猶予措置の延長や、地方創生臨時交付金を活用したJRに対する支援の拡充、感染症収束後の「GoToキャンペーン」における鉄道利用の促進に向けた政策誘導に、国会議員懇談会や21世紀の鉄道を考える議員フォーラム所属の国会議員と連携し、取り組みを強化していく。そして、エリア連合との連携を密にし、加盟100単組が「ONE TEAM」となって今次闘争に臨むこととする。

JR九州労組がJR九州高速船(株)に要求書を提出

JR九州労組は2月26日、JR九州高速船(株)に「2021年度新賃金等の要求」と「2021年度夏季手当の要求」を提出した。昨年3月の全便運航休止から約1年が経過し、再開の見通しも立たない危機的状況の中、組合員はこの間、「QUEEN BEETLE」の運航開始に向けた準備を愚直に遂行するとともに、一時帰休の実施にも理解を示し、会社施策へも積極的に協力してきた。

JR九州労組は、厳しい経営状況に理解を示しつつも、上述した組合員の労苦に報いるため、ベースアップ1,000円、夏季手当2.5カ月をはじめとした要求を申し入れたところであり、今後要求実現に向けて、団体交渉を強化していくこととしている。

エリア連合は、グループ労組の要求書の提出状況を確認し、JR連合へ報告を